

条件一覧①

○建設総事業費

	金額
建設総事業費	11,644百万円
①土地・建物・設計費関連	8,704百万円
②システム関連・医療機器関連	2,310百万円
③その他	630百万円

○医療機能

	1年目	2年目以降～	加賀市民 病院	山中温泉 医療センター	統計値	対策
病床数(床)	350床	350床	-	-	-	-
一般病床	300床	300床	-	-	-	-
回復期リハビリテーション病床	50床	50床	-	-	-	-
入院平均単価(円)			-	-	-	-
一般病床	平成22年度加賀市民病院の入院単価(回復期リハビリテーション病床を含む)の実績38,344円に病床数増加による手術収入3,155円(病院経営分析調査報告より200～299床のデータを引用)を加算した値に、さらに特定集中治療室等の施設基準の取得による効果を鑑みて平均単価を42,000円で設定する。(※ちなみに病院経営分析調査報告のDPC対象病院の平均単価は、200～299床で47,001円、300～399床で47,215円)		40,783円	34,918円	47,215円	①特定集中治療室等の施設基準取得 ②医師数増加による手術件数の増加 上記により新入院患者を増やし、回転率を向上させる。
回復期リハビリテーション病床	山中温泉医療センターの平成22年度実績を使用(28,933円)		22,659円	28,933円	(15%未満)32,997円 (15%以上)31,058円	セラピストの集約により、患者1人当たりのリハビリ実施単位数を増やす。
病床利用率(%)			-	-	-	-
一般病床	80%	85%	82.6%	65.8%	68.5%	-
回復期リハビリテーション病床	85%	毎年1%ずつ利用率を上げ、90%まで増加。平成33年度以降は一定で推移。	53.2%	76.4%	(15%未満)85.4% (15%以上)87.8%	一般病床からの転院だけでなく、対象患者の確保に向け、地域連携の強化を図る。
平均在院日数(日) ※一般病床のみ	病院経営分析調査報告より300～399床の自治体病院の統計値を使用している。		16.8日	16.0日	14.8日	退院調整の充実、地域内での連携等
外来平均単価(円)	病院経営分析調査報告より200～299床と300～399床の平均値を使用(11,504円)		10,447円	7,245円	12,044円	病病・病診連携推進により、外来化学療法、専門外来などを充実させる。
1日当たりの外来患者数(人)	500人で設定	600人で設定	474人	200人	418人	上記同様
※診療日数(日)	243日(週休2日)	243日(週休2日)	-	-	-	-

※統計値:病院経営実態調査報告及び病院経営分析調査報告の300～399床の自治体病院の数値を使用

※回復期リハビリテーション病棟に関する統計:病医院の経営分析参考指標(平成21年度決算分) 数値の前の比率については全床に占める回復期リハビリテーション病床の割合を表しています。

※加賀市民病院、山中温泉医療センターの実績については平成22年度の実績を使用

条件一覧②

○財務状況

※対医業収益比率で表記

	1年目	2年目以降～	加賀市民 病院	山中温泉 医療センター	統計値 (黒字病院の平均値)	対策
1. 総収益						
(1) 医業収益			100.0%	100.0%	100.0%	-
ア. 入院収益	上記数値を使用し算出	上記数値を使用し算出	64.2%	75.9%	65.2%	-
イ. 外来収益	上記数値を使用し算出	上記数値を使用し算出	31.7%	21.5%	30.8%	-
ウ. その他医業収益			4.1%	2.7%	4.0%	-
(ア) 他会計負担金	救急医療に関する負担金	救急医療に関する負担金	1.1%	-	-	-
(イ) 室料差額収益	一般病床の20%を個室とし(60床)、室料差額の平均値(3000円/日)として算出。そして上記、一般病床の病床利用率(80%)を使用。	一般病床の20%を個室とし(60床)、室料差額の平均値(3000円/日)として算出。そして上記、一般病床の病床利用率(85%)を使用。	-	-	1.3%	-
(2) 医業外収益			9.5%	11.3%	4.9%	-
ア. 他会計補助金			-	-	-	-
イ. 他会計負担金	保健衛生費に関する負担金	保健衛生費に関する負担金	-	-	-	-
ウ. その他医業外収益	看護師養成施設の収益は加味していない		-	-	-	-
(3) 特別利益			0.0%	0.0%	0.9%	-
他会計繰入金			-	-	-	-
固定資産売却益			-	-	-	-
2. 総費用						
(1) 医業費用			106.0%	107.1%	95.0%	-
ア. 職員給与費	加賀市民病院の平成28年度の予想給与を現在の昇給率を基に算出。その実績を山中温泉医療センターでも引用し、試算上は350床の病床按分により人件費を算出	2年目以降は、前年度職員給与費の0.5%の昇給率で設定	63.3%	71.7%	51.0%	①まずは病床利用率向上により、収益の向上。それに伴う人件費率の引き下げ。
イ. 材料費	病院経営分析調査報告より200～299床の値を使用(23.9%)		20.9%	11.9%	22.8%	-
ウ. 減価償却費	減価償却費は、以下の通り設定する。 ①システム機器は、5年で償却し、7年目から再更新する。 ②医療機器は、6年で償却する。 ③4年目以降、毎年医療機器及び施設に関する投資分については、6年で償却する ⇒4年目から6年目にかけては1億円、7年目以降は1億1千万円を投資額とする		7.7%	0.8%	5.6%	①適正な初期投資に抑えること。 ②適正価格での医療機器購入。
エ. 経費	加賀市民病院と山中温泉医療センターの経費の合計を350床換算した数値 ※山中温泉医療センターの経費から統合によって重複するであろう経費を削除した ⇒広告費、地代、車両関係費、通信費等 ⇒まだ保守料や委託料等も統合によって効率化が図られ、さらに経費は削減されると予想される		14.1%	22.7%	15.6%	①左記をはじめ、2病院統合による経費の合理化、効率化の推進
(2) 医業外費用			9.5%	1.5%	2.6%	-
ア. 支払利息	以下の条件で設定		-	-	-	-
合併債	30年償還内据置5年・支払利息1.7%(うち合併債の器械に係るものを5年償還内据置1年・支払利息1.1%で設定)		-	-	-	-
出資債	30年償還内据置5年・支払利息1.7%		-	-	-	-
企業債	30年償還内据置5年・支払利息1.7%(うち合併債の器械に係るものを5年償還内据置1年・支払利息1.1%で設定)		-	-	-	-
イ. その他医業外費用	看護師養成施設の費用は加味していない		-	-	-	-
(3) 特別損失			0.0%	0.0%	0.3%	-
3. 経常利益又は経常損失			-	-	-	-
4. 純利益又は純損失			-	-	-	-

※統計値：病院経営実態調査報告及び病院経営分析調査報告の300～399床の自治体病院の黒字病院の平均値を使用

※加賀市民病院、山中温泉医療センターの実績については平成22年度の実績を使用

医業収支の推移

加賀市医療提供体制調査検討委員会(第5回)資料6-3

①収益的収支

(単位:百万円)

	1年目 平成28年度	2年目 平成29年度	3年目 平成30年度	4年目 平成31年度	5年目 平成32年度	6年目 平成33年度	7年目 平成34年度	8年目 平成35年度	9年目 平成36年度	10年目 平成37年度
1 医業収益	5,628	6,146	6,152	6,157	6,162	6,167	6,167	6,167	6,167	6,167
2 医業費用	5,965	6,105	6,122	6,156	6,190	6,105	5,974	6,009	6,044	6,046
3 医業損益(1-2)	▲ 337	42	30	1	▲ 28	63	193	159	124	122
4 医業外収益	312	312	309	307	304	301	300	299	297	295
5 特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 医業外費用	134	133	128	122	117	112	109	107	103	99
7 特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 純損益(3+4+5-6-7)	▲ 158	220	211	185	158	252	384	351	318	318
9 医業費用のうち減価償却費	656	656	656	672	689	586	439	457	475	477
10 減価償却前損益(8+9)	497	876	867	857	847	838	823	808	793	795
11 累積損益(前年度10+8)	▲ 158	62	273	458	616	868	1,252	1,603	1,921	2,239

②資本的収支

(単位:百万円)

	1年目 平成28年度	2年目 平成29年度	3年目 平成30年度	4年目 平成31年度	5年目 平成32年度	6年目 平成33年度	7年目 平成34年度	8年目 平成35年度	9年目 平成36年度	10年目 平成37年度
12 資本的収入	0	226	236	344	395	222	247	261	276	278
13 資本的支出	0	452	472	588	689	345	384	412	441	445
14 収支不足(12-13)	0	▲ 226	▲ 236	▲ 244	▲ 295	▲ 122	▲ 137	▲ 151	▲ 166	▲ 168

③旧病院建設に係る残債

15 旧病院 支払元利金	144	142	139	114	111	110	107	105	99	64
--------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----

④キャッシュフロー

16 キャッシュフロー(10+14-15)	353	508	491	500	441	606	579	552	528	563
-----------------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(参考)一般会計実質負担額(交付税を除いた額)

(単位:百万円)

	平成22年度 決算額	1年目 平成28年度	2年目 平成29年度	3年目 平成30年度	4年目 平成31年度	5年目 平成32年度	6年目 平成33年度	7年目 平成34年度	8年目 平成35年度	9年目 平成36年度	10年目 平成37年度
新病院 建設分		54	223	234	241	277	149	162	175	187	187
旧病院 残債分	203	105	105	103	84	83	82	81	80	76	48
計	203	160	328	337	325	360	231	243	255	263	235